

令和 6年 11月 20日

南箕輪村議会議長 様

提出者名 西森一博

議員研修・議員視察結果報告書

研修名または視察テーマ	伊北議員研修会
研修・視察実施場所	南箕輪村民センター 大芝高原みんなの森
研修・視察の期間	令和6年11月19日
研修・視察の成果等	南箕輪村が当番となった伊北議員研修会は、大芝高原の森づくりについて、地域おこし協力隊の杉本さんが講演してくれました。 森林総合管理士（フォレスター）の国家資格を持つ杉本さんは、上伊那の森は転換期にあつて、これからの森づくりは「どんな森にしたいか」「どうすれば良いか」を考えて森づくりを進める必要があると説明してくれました。森林整備で下草狩りを行っているが、新しく生えてきた芽まで狩り払われていて、成長してこなかった現状があると説明。 すべて狩り払いしても植樹すれば良いという考えではなく、自然な芽を活かして成長を促すことも必要であると言います。そのため大芝の森林計画はエリアを分けて多少性のある森づくりを進めているとしており、そのために一定の伐採ガイドラインや天然更新の補助、仮払いガイドラインを設けることで、目的を持った森づくりを進める事ができると言います。また、森は人との共存共栄が大切で、森と人をつなぐために森を使う（空間利用、資源利用）を念頭に置いた計画が必

	要で、昔の里山は森林と人との共存を生んでいたと説明されていた。 これから見据えた大芝の森林整備計画に沿った大芝の森が整備されて行くことになっており、100年後の村民が憩いの場として大芝の森を活用している事を考えると、整備方針が大切だと改めて思い返された研修だった。 今後は大芝だけでなく、村民各所に点在する森林にも波及されたいと願う。
--	--

※研修・視察終了後、議長または委員長が定めた期日までに提出すること。